



## 富山大学学術研究部医学系 分子医科薬理学講座

中川 崇

2019年10月1日から富山大学学術研究部医学系分子医科薬理学講座を担当することになりました、中川崇です。この度は研究室紹介の機会を頂き、感謝申し上げます。私は、1999年に大阪大学医学部を卒業後、耳鼻咽喉科で臨床研修を行い、大学院から基礎研究を開始しました。その後、米国への留学を経て、2011年に富山大学先端ライフサイエンス拠点に採用され、テニユアトラック特命助教として独立した研究室を主宰させていただきました。また、2016年からは富山大学医学部に移動して独立准教授として引き続き研究を行ってきました。今回着任した分子医科薬理学講座は、富山大学医学部の前身である富山医科薬科大学の開校と同時に設置された薬理学講座がその最初であり、大学の合併や大学院重点化などを経て現在の講座名に名称を変更し、私で4代目の教授となります。

研究室のある杉谷キャンパスは、富山市の呉羽丘陵と呼ばれる小高い丘のなかにあり、窓からは富山平野が一望できます。また、4月にはキャンパス内は桜も咲き誇り、非常に美しい風景が見られます(写真1)。富山は日本海に面し、特に富山湾は「天然のいけす」とよばれ、ブリやしろえび、ホタルイカなど様々な海の幸が豊富です。また、南には立山を代表とする北アルプスの山々が広がっており、少し足を伸ばせば3000メートル級の山々に登ることができます。富山は「とやまの薬売り」で有名なように、いわゆる和漢薬の長い歴史をもった土地です。研究室の所属する富山大学医学部も「医学と薬学の有機的な連携」とともに「東西医学の統合」を理念に掲げ、医学部だけでなく同じキャンパスにある薬学部や和漢医薬学総合研究所な

どと密接に連携しながら研究・教育を行っています。

我々の研究室では、質量分析計を用いたメタボロミクスや様々な遺伝子改変マウスを用いて、「代謝から見た老化制御機構の解明」を目指し研究を行っています。現在は、補酵素であるNADの代謝経路に関する生化学的解析とそれらの老化制御における役割に着目して研究を行っています。NADは100年以上前に発見された非常に古い代謝物ですが、近年老化との関連が報告され再び注目を集めています。我々も、メタボロミクスを駆使することで、今までに報告のなかった新規のNAD代謝経路や、いまだに良くわかっていないミトコンドリアでのNAD合成経路の謎について取り組んでいます。また、最近ではメタボロミクスを使ってアミノ酸代謝と老化についても研究を進めています。さらには、これらの研究成果をヒトの加齢性疾患へ応用すべく、NAD関連代謝物やアミノ酸を用いた臨床試験も行っていきたいと思っています。研究内容の詳細については、研究室HP (<http://www.med.u-toyama.ac.jp/pharma>) を是非ご覧ください。

現在、研究室には助教2名、研究員2名、大学院生4名、医学部学生4名、事務・技術補佐員2名と私を含めて15名が在籍しています。代謝研究やメタボロミクス、老化研究に興味のある学生やポスドクの参加をお待ちしていますので、興味のある方はお気軽にご連絡ください。まだまだ、発足して日の浅い研究室ではありますが、今後も研究・教育に努力していく所存ですので、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



写真1 研究室のある医学部研究棟からの景色



写真2 研究室メンバー